

第161関係様式

調 査 研 修 報 告 書

令和5 年 2 月17 日

大郷町議会議長
石 川 良 彦 殿

会派の名称 清 友 会

代表者（議員） 石 川 壽 和



下記のとおり政務活動調査研修のため旅行したので、大郷町議会運営に関する基準第161の規定により報告いたします。

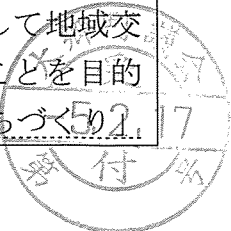
記

1. 期 間 令和 5年1 月25日 ～ 1月27日 （ 3 日間）

2. 調査地
- 1 熊本県球磨川周辺（復興まちづくりについて） 球磨村、人吉市
 - 2 熊本県甲佐町（かわまちづくりについて） 甲佐町、美里町
 - 3 福岡県大任町（活力あるまちづくりについて） 道の駅おおひねり柳街道

3. 所 感

- 1 球磨川周辺地域では、今だ令和2年の7月豪雨の爪痕がいまだに解消されていない状況であった。災害時に自らの命を守るためには、自らの手段で安全な場所へ避難するしか方法はないと思う。復興まちづくりは、令和4年度より意見交換や社会実験を行いながら計画を詰め、令和6年度に登録を目指す予定だそうである。わが町も、良いところは参考にして「まちづくり」に推進されたい。
- 2 甲佐町かわまちづくり事業は、地域住民や甲佐町、河川管理者（国土交通省）等から構成した「甲佐地区かわまちづくり協議会」を中心に、甲佐町の「まちづくり」と緑川の「かわづくり」を一体化させ、緑川を軸とした地域の活性化、イベント開催の場としての観光誘致、様々な世代が集う水辺拠点として地域交流の促進を図るとともに、地域一体となって利活用と維持管理を図ることを目的に事業を勧めていた。わが町も、良いところは参考にして「かわまちづくり」



に推進されたい。ただ施設の維持管理費等の問題点はしっかりと議論するよう努められたい。

- 3 道の駅おおとう桜街道は、大任町が100%出資した道の駅で永原町長が先頭に立ち、今まで観光・企業・核的な部分がなく過疎化が進む中、ただ通りすぎる町から、観光拠点になる町を目指し計画・実施をすることにより、町の活性化・雇用対策・医療費の削減を目的にしていた。1億円のトイレなどで話題性を図り客数を増やそうとする支配人のやる気度が大変伝わってきた。わが町も「活力あるまちづくり」に推進されるよう努められたい。

※調査内容、出席者名、旅程表については、計画書と相違がある場合は、その内容と理由を明記したものを添付すること。